



かるかる

2018年 **2**月 vol.269



平成29年度文化庁「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」

合唱の街 北九州

2018.2.12

(月・休)

15:00~17:00 (開場14:30)

アルモニーサンク

北九州ソレイユホール

北九州市制55周年記念事業
行けわが想いよ、黄金の翼に乗って

グランソレイユ コーラスフェスティバル



グランソレイユ合唱団



シニアと子どもたちによって結成された「グランソレイユ合唱団」。村上敏明さん(藤原歌劇団)の指揮・指導により、イタリアオペラの二大作曲家のオペラから合唱曲に挑戦します。また、第1部には、北九州市立高等学校吹奏楽部とひびき少年少女合唱団のコラボも実現します。世代を越えて一丸となったメンバーが生み出す、音楽の“チカラ”にご期待ください。



【出演】

村上敏明 (総指揮・指導/テノール・藤原歌劇団)
グランソレイユ合唱団
北九州市立高等学校吹奏楽部
ひびき少年少女合唱団
宮崎由紀子 (ピアノ)
吉松理恵 (ピアノ)
宮崎希世子 (ソプラノ)

プログラム

《第1部》北九州市立高等学校吹奏楽部×ひびき少年少女合唱団
■オペレッタ「こうもり」/ヨハン・シュトラウス セレクション
■「ラ・ダンツァ」/ロッシーニ 吹奏楽×合唱コラボ
《第2部》～進化するグランソレイユ合唱団～村上敏明さんとオペラ名場面でおペラ曲を愉しもう！
■オペラ「アイダ」より
・ファンファーレ『凱旋行進曲』(北九州市立高等学校吹奏楽部ソロ)
■オペラ「トゥーランドット」/プッチーニ ハイライト
村上敏明×宮崎希世子×グランソレイユ合唱団
■オペラ「ナブッコ」/ヴェルディ
・行けわが想いよ、黄金の翼に乗って (グランソレイユ合唱団×市内合唱団の有志参加) ほか
※都合により、プログラムが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆日時：2018年2月12日 (月・休) 15:00 ~ 17:00 (開場14:30)

◆会場：アルモニーサンク北九州ソレイユホール
(北九州市小倉北区大手町12-3)

◆料金：おとな1000円、子ども (3歳~高校生) 500円

◆チケット販売：アルモニーサンク北九州ソレイユホールほか主要プレイガイドで販売中

◆主催：北九州市/アルモニーサンク北九州ソレイユホール

◆後援：北九州音楽協会

小倉北 **北九州芸術劇場**   etc.

〒812-8555 小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 開演によって異なります
 〇西小倉駅 徒歩3分 〇室町・リバーウォーク 徒歩1分 〇年未年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	パルコ・プロデュース「アンチゴーン」 蒼井優、生瀬勝久ら豪華キャストの競演で現代に問う、構想10年の意欲作	24(土)	18:30	一般 ¥7800 ユース(24歳以下) ¥4000 高校生(的)チケット ¥1500 ※対象:小学生以上 ※全席指定	北九州芸術劇場 093(562)2655
		25(日)	12:30 17:30		
		26(月)	12:30		
中劇場	平成29年度 北九州市防災フォーラム	3(土)	13:30	無料	北九州市危機管理室 093(582)2110
	瑞宝太鼓 北九州公演	10(土)	13:00 12:00開場	一般 ¥2500 小学生・障害者 ¥1500 ※当日各¥500増 ※ロビー開場は11:00	瑞宝太鼓北九州公演実行委員会 093(521)5912
	建国記念の日奉祝北九州市民大会	11(日)祝	12:45 12:00開場	無料 ※要整理券	建国記念の日奉祝 北九州市民大会実行委員会 090(2082)3067【宮原】
	北九州子ども劇場2月小学生以上例会 行橋みやこ子ども劇場2月低学年部例会 「小さい“つ”が消えた日」(劇団仲間)	12(月)休	15:00 18:30	会費制 ※対象:4歳以上 ※子ども劇場会員でない方は お問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834
	「そして、サンタ・マリアがいたーキリシタン復活物語ー」	17(土)	19:00 18:00開場	一般 ¥1000 中学・高校生 ¥500 ※対象:小学生以上 ※小学生無料	劇団さばと座 090(8628)5784【林田】
	18(日)	13:00 12:00開場			
	第4回林芙美子文学賞表彰式・記念講演 林芙美子文学賞の表彰式と、選考委員である直木賞作家 角田光代さんの講演会	24(土)	13:30	無料	北九州市立文学館 093(571)1505
フラメンコ発表会	25(日)	17:30	無料 ※要整理券	フラメンコスタジオ Girasol 090(9401)0320	
小劇場	北九州芸術劇場プロデュース「彼の地Ⅱ～逢いたいひ、と。」 桑原裕子が描く北九州の街の匂いの群像劇。待望の人間讃歌、新作上演!	17(土)~18(日)	14:30	一般 ¥3000 学生(小~大学生) ¥2500 高校生(的)チケット ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増 ※学生は要学生証提示	北九州芸術劇場 093(562)2655
		19(月)	19:00		
		21(水)	14:30		
		22(木)~23(金)	19:00		
		24(土)	14:30		
	25(日)	13:30			
北九州子ども劇場2月幼児例会 「どんどこ劇場」(人形劇団 京芸)	26(月)	18:30 18:10開場	会費制 ※子ども劇場会員でない方は お問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834	

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ
 北九州芸術劇場は平成29年度に小劇場・大ホールの改修工事を計画しております。
 (予定工事期間:〈小劇場〉平成30年1月4日から2月4日〈大ホール〉平成30年1月22日から2月21日)〈北九州芸術劇場 施設利用係 TEL 093(562)8436〉

小倉北 **北九州芸術劇場 市民ギャラリー** 

〒812-8555 小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 〇10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 〇西小倉駅 徒歩10分 〇西小倉駅 徒歩3分 〇年未年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
平成29年度 周望学舎 修了記念作品展 書道・陶芸作品・写真	7(水)~13(火) 10:00~18:00	無料 ※13(火)は15:00まで	北九州市保健福祉局地域福祉部 長寿社会対策課(周望学舎) 093(591)2626
古布コラージュアート 表装	14(水)~20(火)	無料	古布コラージュアート 090(2510)4458
第8回 写道写真展 写真	21(水)~27(火)	無料	写道 090(1342)9340
第6回デジカメクラブ写真作品展 写真	2/28(水)~3/6(火)	無料	デジカメクラブ 093(612)6327

八幡東 **北九州市立響ホール** 

〒812-8555 八幡東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 〇八幡駅 徒歩15分 〇八幡駅入口第一 徒歩10分
 〇国際村交流センター 徒歩3分 〇年未年始、隔月1回(不定休) 〇240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
田中靖人サクソフォン・リサイタル ドビュッシー:ラプソディ ほか	4(日)	15:00	一般 ¥3000 25歳以下 ¥2000 (要証明) ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
東京藝術大学音楽学部 2017年度 早期教育プロジェクト in 北九州 30分のランチタイムコンサート サン＝サーンス(イザイ編曲):《ワルツ形式の練習曲による奇想曲》作品52-6 ほか	10(土)	11:00	無料 ※対象:小学生以上 ※定員380名(事前申込不要) ※全席自由	東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター 050(5525)2588
金子三勇士ピアノ・リサイタル リスト:パガニーニによる超絶技巧練習曲集 第3番 嬰ト短調「ラ・カンパネラ」 ほか	25(日)	15:00	一般 ¥3000 25歳以下 ¥2000 (要証明) ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661

門司 出光美術館(門司)   所門司区東港町2-3 画093(332)0251 画10:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 画「門司港駅」徒歩8分 画「門司IC」約10分 画月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
	唐物と茶の湯 古くから日本人に珍重された中国渡来の最高級品、「唐物(からもの)」を紹介	開催中~3/25(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
	列品解説 学芸員が展示作品をわかりやすく解説します	11(日)祝 25(日)	①11:00 ②14:00	無料 入場料が必要	

門司 関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)   所門司区西海岸1-3-3 画093(331)6700 画9:00~17:00
 画「門司港駅」徒歩5分 画年5回

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
レトロ口	バナナのたたき売り	4(日)	13:00 15:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
多目的ホール	門司港西洋人形ひなまつり 人形研究家:瀬下麻美子氏(飯塚市)コレクション	2/3(土)~3/4(日)		無料	

門司 旧門司三井倶楽部  所門司区港町7-1 画093(321)4151 画9:00~17:00
 画「門司港駅」徒歩1分 画なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	門司港レトロ口ひな祭り「さげもん展」	14(水)~22(木)	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 門司港レトロ展望室  所門司区東港町1-32 画093(321)4151 画10:00~22:00(カフェは20:30まで)入館は閉館30分前まで
 画「門司港駅」徒歩5分 画年4回

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	天空ジャズ 出演:トニックオブノーツ	3(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 門司市民会館   所門司区老松町3-2 画093(321)2907 画9:00~22:00
 画「門司港駅」徒歩13分 画「関門トンネル車道口」徒歩2分 画「レトロ東本町1丁目」徒歩3分 画年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	門司市民会館まつり「舞の祭典」 真寿会、藤扇菜玉一門会、若生千翔一門会による邦舞発表会	18(日)	12:00	¥1000 (前売・当日共)	門司市民会館 093(321)2907
	梶川歌謡祭	25(日)	9:30	無料	梶川雪子 093(341)3133

門司 旧大連航路上屋   所門司区西海岸1-3-5 画093(322)5020 画9:00~17:00
 画「門司港駅」徒歩5分 画年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
松永文庫 1階	松永文庫企画展「名作洋画資料展」	1/20(土)~4/4(水)		無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
多目的ホール	マンスリージャズ 出演:イエスタデイトレース	11(日)祝	14:00~16:00	無料	

門司 門司港美術工芸研究所  所門司区東港町6-72 港ハウス2F 画093(322)1235 画10:00~17:00
 画「門司港駅」徒歩5分 画月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
	石川九楊 春宵講演「日本とはどんな国だろう」 書家の石川九楊氏による講演会。日本のあり方や言語についての講演。	18(日)	15:00~16:30	¥1000 (資料代含む) ※対象:中学生以上 ※要事前申込(定員先着70名、1/23火から電話にて受付) ※会場:三宜楼 百量閣	門司港美術工芸研究所 093(322)1235

小倉北 北九州市立小倉城庭園   所小倉北区城内1-2 画093(582)2747 画9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 画「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 画なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	佐藤辰美コレクション展 ~痕跡の美~ 古きものに思いをはせる 佐藤氏が集めた仏教美術の名品を展示します。	2/7(水)~4/8(日)		一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
書院棟	小笠原流 加冠の儀 一般公募で選ばれた新成人女性が体験します。	25(日)	12:00	一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール

〒小倉北区大手町12-3 ☎093(592)5405 公演によって異なります
 小倉駅「徒歩30分」 西小倉駅「徒歩15分」 「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分
 休年末年始、毎月1回(不定休) 80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	平成29年度 北九州市中学生合唱フェスティバル	3(土)	14:00	無料	北九州市教育委員会 093(582)2368
	新春 第25回 北九州選抜歌謡祭	4(日)	10:30	無料	北九州選抜歌謡祭実行委員会 093(671)7636
	第43回 九州公演 日本フィル in kyusyu 2018	11(日)祝	14:00	RS席 ¥7000 SS席 ¥6000 S席 ¥5500 A席 ¥4500 学生席 ¥3500 ※対象:小学生以上	日本フィル北九州公演 実行委員会 090(4997)5500
	北九州市制55周年記念事業 グランソレイユ コーラスフェスティバル 行けわが想いよ、黄金の翼に乗って	12(月)休	15:00	おとな ¥1000 子ども(3歳~高校生) ¥500	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト ~ Best Classics Harmony ~	17(土)	13:30	全席指定 ¥5500 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	ドラマチック・タンゴ「巨匠(マエストロ)の魂」	22(休)	19:00	A席 ¥6500 B席 ¥6000 ※対象:小学生以上	MIN-ON北九州 093(884)1833
	小椋佳 歌談の会	24(土)	16:30	全席指定 ¥5800	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	マスクプレイミュージカル「ノンタンみんなであそぼう！」 まるでうごく絵本! たのしさいっぱいミュージカル♪	25(日)	11:00 13:30	全席指定 ¥1800 ※当日¥300増	劇団飛行船 06(6364)3769

小倉北 北九州国際会議場 etc.

〒小倉北区浅野3-9-30 ☎093(541)5931 9:00~22:00(変動あり)
 小倉駅「徒歩10分」 休年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
ホワイールン	第28回北九州YMCA日本語弁論大会 留学生による弁論大会	2(金)	14:00~ 16:00	無料	北九州YMCA学院 093(531)5750

小倉北 北九州市漫画ミュージアム etc.

〒小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077 11:00~19:00(入館は閉館の30分前まで)
 小倉駅「徒歩2分」 休火曜日(祝日の場合は翌日休館)、休年末年始、2/26~28(臨時休館)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室	専門学校 卒業・進級制作展 ①麻生情報ビジネス専門学校 北九州校 CGクリエイタ科・CGデザイン科 ②総合学園ヒューマンアカデミー 北九州校 マンガカレッジ ③麻生情報ビジネス専門学校 北九州校 ゲームクリエイタ科	①10(土)~ 12(月)休 ②16(金) ~18(日) ③23(金) ~25(日)	11:00~ 17:00	無料 ※12月休、18日、25日は 16:00まで	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
	北九州漫画家列伝 ゆかり作家「重大ニュース」2017 北九州市など地元ゆかりの漫画家にまつわる、今年の重大ニュースをご紹介します	12/16(土)~2/16(金)		無料 常設入場料が必要	
	海峽マンガ合戦~中国ブロック なかはらかぜ~ 日本漫画家協会九州ブロックと中国ブロックに所属する作家のミニ個展シリーズ。	1/13(土)~3/9(金)		無料 常設入場料が必要	
ミニギャラリー	あしたのギャラリー vol.29 アズ展増刊号「学校」特集 半世紀の歴史を持つ地元のマンガ同人「アズ漫画研究会」の、若手作家を中心とした作品展。	1/20(土)~3/23(金)		無料 常設入場料が必要	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
イベントコーナー	漫画スクール テーマ①「大人の漫画教室(ストーリー創作法から作画テクニックまで)」 ②「人物の動き(走ったり、座ったりさせるには)」 ③「漫画テクニック(コマ割り・スクリーン・トーン作業)」	①4(日) ②12(月)休 ③25(日)	13:00~ 16:00	無料 常設入場料が必要 ※要事前申込(定員各先着20名) ※対象:①は高校生以上、②③は 小学3年生以上	
	漫画体験 漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方など、初心者でも参加できます。	11(日)祝 24(土)		13:30~ 16:30	
	厚紙とボールペンで作る「紙版画DEマンガ教室」 版画家「久保直美」先生が、子どもから大人まで楽しめる教室を開催	18(日)		14:00~ 16:00	無料 常設入場料が必要 ※対象:小学生以上(小学校低学 年は保護者同伴) ※要事前申込(定員先着16名)

小倉北 北九州市立子ども文化会館(併設津市民センター) etc.

〒小倉北区下津4-3-2 ☎093(592)4152 9:00~17:00
 小倉北特別支援学校「徒歩1分」 下津「徒歩5分」 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、休年末年始 20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
図書室	ビデオ一む こどもにぎょう劇場④世界編「三びきのやぎのらがらどん」他 「福は内! 鬼は外!」	18(日)	14:00	無料	北九州市立子ども文化会館 093(592)4152
	おはなしワールド 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど	24(土)	14:00	無料	
工作室	「京友禅和紙でつくる ひな人形」 京友禅和紙を使って、ひな人形を作成する	18(日)	14:00	1組 ¥500 ※対象:4歳~小学生とその保 護者 ※要事前申込(先着10名、電話 受付中)	

小倉北 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



☎「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分

休所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始 有料

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	倉橋富子フラメンコスタジオ公演 フラメンコ舞踊公演	10(土)	17:30	¥3000	倉橋富子フラメンコスタジオ・プラスエラ 080(5202)4555【島】
	小倉北区民文化祭 邦楽演奏会 三味線・琴・お囃子による合同演奏会	18(日)	13:00	¥1000	小倉北文化連盟 093(521)5352【松浦】
	ヤマハPTC小倉 小さな発表会 ピアノ発表会	25(日)	10:30	無料	株式会社ヤマハミュージッククリエイト小倉店 093(531)4331

小倉北 北九州市立美術館分館



〒小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ☎093(562)3215 時10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)

西小倉駅 徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 ☎「室町・リバーウォーク前」徒歩1分 休年末年始、会期中無休 有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	ヴラマンク展 雪景色や花瓶の花束などを描いたヴラマンクの作品約80点を紹介。	開催中～2/25(日)	一般 ¥1200 高大生 ¥800 小中生 ¥600 ※20名以上の団体料金 一般 ¥1000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館分館 093(562)3215

小倉北 北九州市立松本清張記念館



〒小倉北区城内2-3 ☎093(582)2761 時9:30～18:00(入館は閉館の30分前まで)

西小倉駅 徒歩5分 ☎「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 休年末

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
展示室	開館20周年記念プレ事業「『開館20年の軌跡展』終わりになき探求」	2/1(休)～3/31(土)	無料 常設展示観覧は別途入館料が必要	松本清張記念館 093(582)2761

小倉北 小倉井筒屋



〒小倉北区船場町1-1 ☎093(522)3111(代) 時10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場

小倉駅 徒歩7分 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
新館7階大画廊	～西洋の美～ ヨーロッパアンティーク展	14(水)～20(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	～生誕130年～ シャガール秀作版画展	2/28(水)～3/6(火)	無料	
新館7階小画廊	～時の音色・森の旅人～ 川原崎純子 風のおるご～る展	14(水)～20(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	～西洋と東洋の交流点～ トルコ美術工芸展	21(水)～27(火)	無料	
	～人生の黄昏を楽しむ～ 田中善明 油彩画展	2/28(水)～3/6(火)	無料	
本館新館7階大画廊	日本画・洋画 特選版画展 国内外の物故巨匠から現存の人気作家までの版画を中心に展示	1/31(水)～2/13(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊・小画廊 093(522)2521

小倉北 小倉城



〒小倉北区内2-1 ☎093(561)1210 時9:00～17:00(11月～3月)入館は閉館の30分前まで

小倉駅 徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 休なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
歴史ゾーン1階	武士の備え～刀剣と装飾・調度の品々～ 小笠原忠真が着用したと伝わる具足をはじめ刀剣や武士の調度品を展示	開催中～2/25(日)	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093(561)1210
市民の広場	北九州技の達人 まごじ凧作品展 特産工芸品として引き継がれるまごじ凧、伝統職人の技の数々をご覧ください。	1(木)～28(水)	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	

小倉南 小倉南生涯学習センター



〒小倉南区若園5-1-5 ☎093(931)1286 時9:00～22:00 ☎「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分

原(モノレール)「北方駅」徒歩12分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
展示コーナー	卒園記念制作 紙版画展	7(水)～12(月)休	9:00～17:00	無料 ※12月休は16:00まで	志井幼稚園 093(963)1007
		24(土)	11:00～17:00	無料	小原流北九州支部小倉南区会 093(951)3676【原口】
	25(日)	10:00～16:00			

小倉南 平尾台自然の郷 etc. 所小倉南区平尾台1-1-1 ☎093(452)2715 開10:00~16:00(12月~2月) 〇「小倉南IC」約20分 〇「石原町駅」よりタクシー、おでかけ交通で約15分
 〇「中谷営業所」よりタクシー、おでかけ交通で約20分 〇「休火曜日(祝日の場合は翌日休園)」

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
平尾台ふゆはなび 平尾台の冬空を音楽とレーザー光線で彩る花火ショー。	11(日)祝	17:00~19:30	無料 ※荒天の場合12月休日に順延	平尾台自然の郷 093(452)2715
野焼き一般観覧 平尾台に春を告げる「野焼き」を、平尾台自然の郷の園内から観覧します。	24(土)	10:00~15:00	無料 ※荒天の場合25日に順延	
野焼き特別見学会 事前申込者限定で、本来立ち入り禁止区域となる茶ケ床園地から見学します。	24(土)	8:00~12:00	1人 ¥600 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(往復ハガキ9金消印有効) ※定員300名(応募多数の場合抽選) ※荒天の場合25日に順延	

若松 現代美術センター CCA北九州 〇若松区ひびきの2-5 学術研究都市 ☎093(695)3691 開10:00~17:00(展覧会開催時のみ)
 〇市営バス「学研都市ひびきの」徒歩1分 〇「休年末年始」

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ピピロッティ・リスト展 初期のビデオ作品	1/15(月)~3/2(金) (日・祝休み)	無料 ※土曜は12:00から	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター) 〇八幡東区東田2-2-11 ☎093(663)5411 開平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
 〇「スペースワールド駅」徒歩5分 〇「いのちのたび博物館」徒歩3分
 〇「休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、休年末年始」 〇「大型30台、普通300台(有料)」

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企業展示 ギャラリー	冬企画展「地域ものづくり(リレー)展 ~未来へ広がる企業技術展」 「北九州オンリーワン企業」など、行政が支援する開発を紹介する。	2/3(土)~2/18(日)	無料 ※対象:小学生以上	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー 〇八幡東区西本町1-20-2 ☎093(661)9130 開10:00~18:00
 〇「八幡駅」徒歩5分 〇「休年末年始」

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
九州朝鮮中高級学校美術部部展「繁具」 九州朝鮮中高級学校美術部9名が1年間かけて作り上げた作品	16(金)~18(日)	無料 ※18日は16:00まで	九州朝鮮中高級学校 093(691)4431

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館) etc. 〇八幡東区東田2-4-1 ☎093(681)1011 開9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 〇「スペースワールド駅」徒歩5分 〇「いのちのたび博物館」徒歩1分
 〇「休年末年始、6月下旬(約1週間)」 〇「大型30台、普通300台(有料)」

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
冬の特別展「アクア・キングダム」 swim, again. 爬虫類、鳥類、哺乳類。進化の中で再び水の中へ。	開催中	~2/25(日)	大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093(681)1011
企画展「写真で見る装飾古墳(福岡県・熊本県)」 1960年代に撮影された、福岡県と熊本県の装飾古墳の写真パネルを展示します。	開催中	~4/8(日)	要常設展観覧料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200	
歴史講演会「シルクロード・グローバル社会の先駆けを訪れる」 講師:下関東亜大教授 黄 晔芬 氏	10(土)	13:30	資料代 ¥800 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
冬の特別展開連イベント 特別講演「くじらは海のほ乳類」 講師:公益財団法人下関海洋科学アカデミー 鯨類研究室 室長・獣医師 石川 創 氏	11(日)祝	14:00	無料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
室内講座「小さな化石にふれてみよう！」 顕微鏡でしか見ることのできない小さな化石を観察します。	11(日)祝	13:30	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	
たいけん講座「いろいろなかたちのアンモナイトにさわってみよう！」 さまざまな形のアンモナイト化石に触れながら観察し、多様性や不思議を体感します。	25(日)	13:30	無料 ※要事前申込 (小学生以下は保護者同伴)	

八幡東 北九州市立児童文化科学館 etc. 〇八幡東区桃園3-1-5 ☎093(671)4566 開9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 〇「市立児童文化科学館前」徒歩5分 〇「休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、休年末年始」

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
会議室	サイエンスショー おもしろい力学実験	4(日)	14:00~14:50	無料	児童文化科学館 093(671)4566
プラネタリウム プラネタリウム プラネタリウム プラネタリウム	星の観望の夕べ プラネタリウム観覧後、月と冬の星空を望遠鏡で観察します	24(土)	19:00~20:30	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、10時から電話受付開始	

八幡西 北九州市立子どもの館 etc.

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ7F 画093(642)5555 画10:00~19:00
 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎バスセンター」徒歩1分 画2/7,21

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ひばり	人形ボードヴィル・ドラの笑顔の宅配便 音楽に合わせて人形が踊りだす、子どもから大人まで楽しめるステージです	11(日)祝	15:10	無料	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

所八幡西区木屋瀬3-16-26 画093(619)1149 画9:00~17:30(入館は17:00まで) 画「筑前植木駅」徒歩15分
 画(筑豊電鉄)「木屋瀬駅」徒歩5分 画九州自動車道「八幡IC」、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分
 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	第68回企画展「長崎街道ひなまつり 木屋瀬宿~立場茶屋銀杏屋」展 ひな飾りややげもんの展示、イベントを周辺5施設で行います。	2/17(土)~3/18(日) (施設によって異なる)	大人 ¥200 高校生 ¥100 小中学生 ¥50 ※他施設は無料	長崎街道木屋瀬宿記念館 093(619)1149

八幡西 黒崎井筒屋

所八幡西区黒崎1-1-1 画093(643)5111(代) 画10:00~19:30※各最終日は17:00に閉場
 画「黒崎駅」隣接 画不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階 ギャラリー	翡翠と天然石のアクセサリ 古代から神秘的な力を持つ翡翠や、天然石のアクセサリを展示。	1/30(火)~2/4(日)	無料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	アンデスの古代染め ニットフェア	6(火)~11(日)祝	無料	
	Bangladesh ノクシカタ刺繍 1000年の歴史を持つ Bangladesh の伝統刺繍。小物や洋服を展示。	13(火)~18(日)	無料	
	佐藤勝彦の世界展 画家であり書家・陶芸家の佐藤勝彦氏の墨彩画や陶磁器、約200点を展示。	20(火)~25(日)	無料	
	着物服&創作アクセサリ展	2/27(火)~3/4(日)	無料	

八幡西 黒崎ひびしんホール (北九州市立黒崎文化ホール) etc.

所八幡西区岸の浦2-1-1 画093(621)4566 画9:00~22:00
 画「黒崎駅」徒歩10分 画(筑豊電鉄)「黒崎駅前」徒歩10分 画「熊手四ツ角」徒歩1分
 画「北九州都市高速」黒崎IC」5分 画年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第37回八幡西幼児音楽祭	4(日)	10:00	無料	(一社)北九州市保育所連盟八幡西支部 093(691)0466
	北九州マリンバオーケストラRIM Concert vol.4 歌劇「カルメン」より	11(日)祝	14:00	一般 ¥2500 高校生以下 ¥1500 友の会 ¥2000 ※未就学児膝上1名まで無料	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	第48回お遊戯発表会	12(月)休	14:00	無料	第二文化幼稚園 093(611)1436
中ホール	前川清ショー	22(木)	18:30	指定席5席 ¥6000	ソワード(株) 0956(22)2036
	ひまわり保育園生活発表会	3(土)	14:30	無料	ひまわり保育園 093(622)2380
	音楽の広場PAM 第118回コンサート	4(日)	14:00	¥1000	音楽の広場PAM 090(1874)0521
	ひなまつり発表会	12(月)休	13:00	無料	学校法人秋吉学園 穴生幼稚園 093(631)5874
	黒崎ひびしんうたごえホール	14(水)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	第32回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 「古楽器で聴くバロック音楽」~ソナタの生い立ち~	15(木)	13:00	¥500	
	2017年度ピティナピアノステップ ハピネスKitaQステーション黒崎2月	18(日)	10:10	無料	ピティナハピネスKitaQ ステーション 093(981)8520【熊本】
	アロマの香りの音世界 音楽(聴く)×アロマ(香る)×映像(観る)で感じる究極のリラックスコンサート	24(土)	16:00	一般 ¥2000 友の会 ¥1800 高校生以下 ¥1000 ※未就学児膝上1名まで無料 ※当日¥500増	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	北九州子ども劇場 2月幼児例会 「どんどこ劇場」(人形劇団 京芸)	25(日)	15:00	会員制 ※子ども劇場会員でない方は お問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834

八幡西 八幡西生涯学習総合センター

所八幡西区黒崎3-15-3 画093(641)9360
 画9:00~22:00 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎IC」約6分 画年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
メインホール	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくり ミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	10(土)	12:00~13:00	無料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

所 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 画 093(644)5206
 画 9:00~19:00 (入館は閉館30分前まで) ※企画展により異なる 画 [黒崎駅] 徒歩1分 画 年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
全展示室	北九州市立年長者研修大学校穴生学舎修了記念作品展 洋画・書・写真	5月~ 11(日)祝	10:00~ 17:30	無 料 ※5月は12:30から、10(土)・ 11(日)祝は15:00まで	北九州市立年長者研修大学校穴生学舎 093(645)6688【山本】
	平成29年度北九州市小中学校合同美術展 児童生徒作品(絵画、立体工作)	20(火)~ 25(日)	9:30~ 17:00	無 料	北九州市小学校図画工作科教育研究会 093(641)4712【古賀】
	雨がトボトボと歩く僕に告げるんだ 書	2/27(火) ~3/4(日)	9:00~ 18:30	無 料 ※3/4日は16:30まで	090(9791)6435【山本】
展示室1	北九州市教職員文化展 洋画・日本画・工芸・書・写真・その他	3(土)~ 4(日)	10:00~ 15:00	無 料	北九州市教職員文化行事実行委員会 090(4345)9248【田中】
	絵画研究クラブ「一五一絵」展 洋画・日本画	12(月)休 ~18(日)	10:00~ 17:00	無 料 ※12月休は11:00から、18(日) は16:00まで	絵画研究クラブ一五一絵 090(2855)7090【水田】
展示室2	世界の文字紀行展2018 彫刻・工芸・書	2(金)~ 4(日)	10:00~ 17:00	無 料 ※2金は11:00から	華一文字 080(3968)9215【岡野】
	絵画28 洋画	12(月)休 ~15(木)	9:00~ 17:00	無 料 ※12月休は11:00から、15(木) は15:00まで	絵画28 080(8382)5255【海老澤】
	「みんな晴れの日」展 描画・立体作品・絵本等	17(土)~ 18(日)	10:00~ 17:00	無 料	河合楽器製作所カワイ音楽教室 北九州事務所 090(7382)2796【松尾】

戸畑 北九州市立美術館本館

所 戸畑区西鞆ヶ谷町21-1 画 093(882)7777 画 9:30~17:30 (入館は閉館30分前まで) 画 [美術館口] 徒歩10分
 画 180台 画 休月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
企画展示室	英国最大の巨匠 ターナー 風景の詩 リニューアル・オープン記念展覧会として、ターナーをご紹介します。	開催中~2/4(日)	一般 ¥1400 高大生 ¥ 800 小中生 ¥ 600 ※20名以上の団体料金 一般¥1200 高大生¥600 小中生¥400	北九州市立美術館 093(882)7777
コレクション展示室	ザ・ベスト・コレクション -丘の上の双眼鏡 本館で同時開催。当館所蔵の珠玉の作品をご紹介します。	開催中~3/18(日)	一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥ 50 ※20名以上の団体料金 一般¥120 高大生¥80 小中生¥40	

■北九州市立美術館アネックス休館のお知らせ
 北九州市立美術館アネックスは平成30年3月まで休館しています。

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)

所 戸畑区汐井町1-6 画 093(871)7200 画 9:00~22:00
 画 [戸畑駅] 徒歩1分 画 [戸畑駅] 徒歩1分 画 年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	福岡県立小倉工業高等学校吹奏楽部 第12回定期演奏会 レ・ミゼラブル、海の男たちの歌、シング・シング・シングなど	4(日)	13:30	無 料	福岡県立小倉工業高等学校吹奏楽部 093(571)1738【橋本】
	和太鼓もも発表会	12(月)休	13:00	無 料	和太鼓もも 090(4341)6577【藤野】
	ミュージックフェスティバル2018北九州会場	18(日)	12:30	一般 ¥900 ※当日¥100増 ※未就学児についてはお問い 合わせください	全日本幼児教育連盟 092(738)3750【佐元】
	第53回 創作ダンス研究発表会 いつまでも元気で心豊かな人生を目指しての創作ダンス発表会です	24(土)	13:30	無 料	福岡県女子体育連盟北部支部 093(881)1147【酒井】
	第6回パレードピース	25(日)	13:30	無 料	パレードピース 080(9107)1316【工藤】
中ホール	ウェルとばた福祉映画上映会 ①「うまれる」、②「うまれる ずっと、いっしょ」	4(日)	①10:00 ②13:00	¥500 ※①②2本鑑賞の場合¥800 ※中学生以下無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200
	ピアノカルテット演奏会 モーツァルト(第1番)&シューマン、モーツァルト/バイオリンソナタ第28番	7(水)	19:00	一般 ¥3000 小~高校生 ¥2000 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増	KAMACHAN planning 090(8401)0220【蒲ヶ原】
	北九州演奏家グループ「虹の会」 55周年記念コンサート 久能菜美ソプラノリサイタル 赤とんぼ、からたちの花 など、日本の唱歌やロッシェニの歌曲・アリア	12(月)休	14:30	¥2000 ※小学生未満無料	北九州演奏家グループ「虹の会」 090(5722)1318【久能】
	北九州演奏家グループ「虹の会」 55周年記念コンサート 大池正子 ソプラノリサイタル なつかしの叙情を美しい日本語に込めて	24(土)	14:30	¥2000 ※小学生未満無料	北九州演奏家グループ「虹の会」 090(6898)4499【大池】

ジャンルごとに色分けして表記しています
 演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し ※1月12日現在の情報です ※催しは内容など変更になる場合がございます 障害者手帳減免があります



2018年
2月号表紙
北九州市立白野江植物公園

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

■発行日/2018.2.1 ■発行/北九州市
 ■編集・制作/ (公財) 北九州市芸術文化振興財団 出版事業課 〒 803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11-5F
 TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1609001A号

■東京藝術大学音楽学部

『早期教育プロジェクト2017 in 北九州①』30分のランチタイムコンサート

2月10日(土) 午前10時40分開場、同11時開演。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。出演はバイオリン荒井里桜、ピアノ谷合千文。曲目はサンサーンス(イザイ編曲)「ワルツ形式の練習曲による奇想曲」ほか。全席自由。入場無料。東京藝大現役生による華麗な演奏にご期待ください。



『30分のランチタイムコンサート』チラシ

■東京藝術大学音楽学部

『早期教育プロジェクト2017 in 北九州②』ヴァイオリン部門公開レッスン

2月10日(土) 午前10時40分開場、同11時50分開講。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。東京藝大音楽部長・バイオリニストの澤和樹によるレッスンを一般公開。受講生は事前審査に合格した音楽の道を志す小中学生。トップレベルの指導をぜひ観覧



『ヴァイオリン部門公開レッスン』チラシ

ください。全席自由。入場無料。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター 050(5525)2588

■門司港レトロアート・シンポジウム

2月25日(日) 午後1時開場、同1時30分開演。プレミアホテル門司港4Fバンケットホール「ジョイア」(門司区港町)。門司港アートの魅力と未来をテーマに開催。基調講演の講師は



芹沢高志

てしまう子どもも少なくありません。私は、こういう子どもたちこそ、「あなたはとっても素晴らしいものを持っている!」というのを伝えるのに、心血を注ぎます。応用力から生まれる柔軟性やセンスは、何ものにも代



最近「天才キッズ○○」や「東大王」のように知識や技術を評価する番組が多く、思わず見てしまう私です。そんな中で、タレントの坂上忍さんがおっしゃった一言がとても気になりました。「子役の演劇指導をすると、応用力のある子とそうでない子がいるんだよね。そして応用力のない子って、とても台詞覚えも早くて、優秀な子どもも多い

応用力の大切さ!

どもも多い。それに対して、コンクールでの大きな賞には全く縁がないが、実は音楽的な応用力をたくさん持っている、しかし、本人はコンクールで認められえず、「自分はダメなんだ」と自信をなくして、中にはやめ

え難いものだからです。指導者になった場合も、その応用力がとても大切です。将来の名指導者を発掘するためにも、いろんなタイプの音楽家が育つように、私たちは心を配らなければなりません。

お知らせ
北九州芸術劇場ではこれからも、お客さまに安全かつ安心してご利用いただくため、修繕工事を予定しています。工事期間は、2018年12月3日から2019年2月28日まで。この間、北九州芸術劇場大ホール・中劇場・小劇場は閉館となる予定です。ご利用・ご来館の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

北九州芸術劇場 施設係
093(562)8436

CulCulの主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

メディアサイト「CulCul・かるかる」リニューアルのお知らせ

メディアサイト「CulCul・かるかる」(http://www.kitakyushu-culcul.jp)は今年4月にリニューアルを予定しています。2月中にメンテナンスのためサービスを停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

また、現行のアプリ(iOS/Android)は2月末をもってサービスを終了いたします。ご利用いただきましてありがとうございました。

引き続き、情報誌およびメディアサイト「CulCul・かるかる」をよろしく願っています。

北九州市文化芸術メディアサイト
CulCul・かるかる
http://www.kitakyushu-culcul.jp





©重松美佐

CulCul topicトピック

北九州芸術劇場プロデュース 『彼の地Ⅱ～逢いたいひ、と。』

北九州芸術劇場 広報係

松本京子 Kyoko Matsumoto

人が生きて、街が動く。

北九州芸術劇場では2008年から第一線の劇作家・演出家を迎え、北九州をモチーフにした脚本内容の作品を創作している。2月に上演する記念すべきシリーズ第10弾のタイトルは『彼の地Ⅱ～逢いたいひ、と。』。人間讃歌の群像劇として多くの反響を頂いた『彼の地』（2014年初演・2016年に再演）に続く新作公演である。作・演出を務めるのは前作に続きKAKUTA・桑原裕子。2014年鶴屋南北戯曲賞受賞、春からは、穂の国とよはし芸術劇場PLA「芸術文化アドバイザー」就任など、今、最も熱い注目を集める彼女が、多田香織(KAKUTA)、そして九州出身者をはじめとするオーディション選抜俳優陣ら19人と共に、1カ月間この街に滞在し、新たな「街と人」の物語を紡いでいく。「日常と地続きの別世界」をキーワードに、さまざまな境遇に生きる人々が、ささやかな日々の中で一歩踏み出す姿を普遍的な人間ドラマへと昇華する作風が高く評価されている桑原裕子。そんな彼女が手掛ける本作品は北九州でひたむきに生きる人々を描いた群像劇である。

この街にはたくさんの人が暮らしている。他所からやってき

た人、街を出て行く人、帰ってきた人、この街にずっと留まる人……。生まれてからずっとここに生きていくけれどもどこか居心地の悪さを感じている人がいたり、初めてこの北九州にやって来て、誰も知らない土地で馴染めるだろうかと不安に感じる人がいたり、きっと一人一人が他人からは見えない想いを抱えて生きている。そんな人たちに、「一人じゃない」。この街に、この場所においていいのだ」と、自分の「今」と「いままで」を、そして何より「これから」をありのままに受け入れる強さを与えてくれる作品であると感ずる。北九州の街を舞台にした物語だが、街に息づく人々が抱えるさまざまな想いは、きつとどの場所にも存在する普遍的なテーマである。彼らが目の前にいる人々や出来事と向き合い、時間をかけて受け入れようとするひたむきな姿を、桑原が暖かい視線で一人一人丁寧に掘り上げた。だからこそ、『彼の地』は、ここが自分の居場所なのだと思つた。涙が止まらなかつた」と地域を越え県外や東京の人々の胸をも強く打つ作品になったのではないだろうか。

桑原はインタビューの中でし

ばしば「袖振り合うも多生の縁」という言葉を口にする。誰かが道端ですれ違いざまにハンカチを一枚落としただけで、何かが始まるかもしれない、そんな人のつながりに惹かれてしまうと。些細なきっかけで人と人が出逢う。それは瞬間的ですがすぐにほめてしまふかもしれないし、ずっと続いていくかもしれない。もしくは途切れてしまつて何年後かに、ふっと全く違う場所でも思い出すこともあるかもしれない。この街のいたるところで日々起きていて、そんな目に見えない小さなドラマの波紋が幾重にも重なり、互いに影響を与え合い、やがては街全体を動かしていく。さらに波紋は日々揺らぎ、形を変え、それに呼応するように街は決して止まらず変わり続ける。人がその地に生きることで、街が動くことをこの作品を観ていると強く感じる。「街の中にこそドラマはある」という桑原の言葉をふつと思いつく。

2月、新たなこの街の物語が動き出す。だがしかし、それはすでに始まっているのかもしれない。あなたの住む街の曲がり角で、今色が変わつた信号の先で、今からすれ違う誰かと。そしてこの街は今日も水の流れるように流動的に変わり続ける。

Information 北九州芸術劇場プロデュース 『彼の地Ⅱ～逢いたいひ、と。』

【公演日程】2月17日(土)～25日(日)

2月	17日(土)	18日(日)	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
午後1時30分	●	●			★				●
午後2時30分	●	●						●	
午後7時		●				●	●		

★21日(水)はアフタートークあり 開場は開演の30分前

【会場】北九州芸術劇場 小劇場

【料金】一般3000円、学生(小～大学生)2500円
高校生(的)チケット1000円

※全席自由 ※当日500円増 ※未就学児入場不可

【お問合せ】北九州芸術劇場 093(562)2655

※チケット好評発売中



©トミタユキコ

目には見えない人々のドラマにより紡ぎ出される今の北九州の街の匂いを、そしてこの場所が確かに今日を生きている人々の姿をぜひ一緒に感じてほしい。舞台上のスポットの光の中のドラマは、もしかしたらあなたの物語かもしれない。

※執筆者の意図により「暖かい」と表記しております



作品はポスターのビジュアルにも採用されています



昨年度の制作展 どれも力作ぞろい



展示では実際にゲームを体験できる



ゲームで盛り上がる会場

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム事務局 企画係

日高杏菜 Anna Hidaka

可能性は無量大 若きクリエイターの力作を展示し卒業・進級制作展

世界的なスポーツの祭典「2020年東京オリンピック・パラリンピック」まであと2年余りとなりました。この催しは、スポーツの祭典であるとともに日本文化を世界に発信する祭典でもあります。その中でも、漫画やアニメはクールジャパンを代表する日本文化として世界中で認知度・人気が高まっています。

近年は、人気の漫画がアニメや映画化、ゲーム化されること（メディアミックス化）も多く、これら多様で魅力的な作品に触れることで将来へのあこがれが募り、漫画家はもとより、イラストレーターやゲームクリエイターなどを志す学生も増えていきます。

このようなニーズにこたえるた

め、高いレベルの企画力やデザイン力、創造力を養成する学科や専門コースを設置する教育機関（大学院・大学・短大および専門学校）が増えており、各分野でその道のプロを目指す人材育成が盛んに行われています。

北九州市内にもたくさんのお教養機関がありますが、当館では生徒の皆さんに「学びの集大成」を発表していただく場として、ミュージアム展示室での「卒業・進級制作展」の誘致を積極的に行っています。展示環境の整った展示室での開催は生徒のモチベーションアップにつながるほか、ポップカルチャーの複合施設「あるあるCUBE」での開催となることからにぎわいづくりにもなります。同時に、多くの市民の方に生徒の力作をご覧い

ただくことで、あらためて描く楽しみや創る楽しさを実感していただき、自身の表現力や創造力に磨きをかけるきっかけにもなればと考えています。

昨年度は北九州市内の2学校4学科による制作展を開催し、生徒たちが学んだ成果を一堂に展示しました。バラエティーに富んだ作品の数々でしたが、全ての作品が創造力に満ちあふれ、それぞれに魅力を感じる秀作ばかりでした。

今回、麻生情報ビジネス専門学校北九州校のCGクリエイター科・CGデザイン科の制作展は、色彩が豊かで優れた作品が多く、市のイベントポスターに採用されるほど高いレベルの作品もあります。また、同校のゲームクリエイター科の制作展は、完成したゲームを実際に体験できる楽しい催しになります。私も先日、実際に学校を訪問し、制作途中の作品を少しだけ体験させていただきました。私でも簡単に操作でき、夢中になりました。展示でも実際にゲームを体験できます。充実したラインナップになる予定です。どうぞお楽しみに。

また、総合学園ヒューマンア

カデミー北九州校マンガカレッジは北九州で唯一マンガを学べる専門学校で、毎年レベルの高い作品の展示を行っており、こちらも見事です。

ご紹介した卒業・進級制作展はすべて入場無料です。どんな作品が会場を飾るのか想像しながら、ぜひ漫画ミュージアムに足を運ぶください。

Event

〈平成29年度卒業・進級制作展〉

◎2月10日(土)～12日(月・休)
麻生情報ビジネス専門学校北九州校
CGクリエイター科・CGデザイン科 卒業・進級制作展

◎2月16日(金)～18日(日)
総合学園ヒューマンアカデミー北九州校マンガカレッジ
卒業・進級制作展

◎2月23日(金)～25日(日)
麻生情報ビジネス専門学校北九州校 ゲームクリエイター科
卒業・進級制作展

【会場】5F企画展示室
【入館料】Eventに記載の展示は入館無料
※漫画ミュージアム常設展の観覧には別途観覧料が必要です

Information

【常設展示入館料】 ※()内は団体料金
一般400円(320円) 中高生200円(160円)
小学生100円(80円) 小学生未満 無料

【開館時間】

午前11時～午後7時
(入館は午後6時30分まで)

【休館日】毎週火曜日

祝日の場合はその翌日休館

2月26日～28日は臨時休館

【お問合せ】

北九州市漫画ミュージアム
093(512)5077

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

小松健一郎 Kenichiro Komatsu



図1 富安由真《Room of Absence》2016年

(不) 在の部屋 ——隠れるものたちの気配

兵庫と東京で開催された「怖い絵展」が大盛況だったそうです。ベストセラーとなった同名の書籍をもとにした展覧会ですが、ドイツ文学者・西洋文化史家の中野京子が、名画の時代背景や描かれた物語を読み解いていくことで、一見すると気付かないような「怖さ」が明らかになる、といった点が人気を呼んでいます。

「怖いもの見たさ」とは、よく分からない恐ろしいものを知り、知識によって恐怖を乗り越えようとする心理だという説があります。そう考えると、「怖い絵展」の鑑賞者は、知識を与えられることによってそれまで見えていなかった怖さを知ると同時に、既にそれを克服しているとも言えます。だからこそ、多くの人の注目を集める知的エンターテインメントとして成り立っているのかもしれない。

一方で、よく分からないもの、理性で捉えきれないものほど怖いという見方もあります。こちらは「怖い絵」とは逆に、最後までその正体が明らかにならないからこそ、不安や恐怖を覚えます。ある種の「不気味さ」と

いったものも、こうした認識の可能性に根差した感覚と言えるでしょう。

現在、北九州市立美術館本館で開催中の展覧会「guest room」に出品している現代アーティスト富安由真は、不気味さや認識の不確かさに強い関心を寄せ、それを作品化しています。これまで神秘主義や心霊現象をモチーフとした油彩画やインスタレーションを手掛けてきた富安ですが、近年は彼女自身が「部屋型インスタレーション」と呼ぶ、架空の部屋を制作しています。

例えば《Room of Absence》(図1、2)は、物が勝手に動いたり、音が鳴ったりするポルターガイスト現象を芸術表現に取り入れた作品です。薄暗い中に家具や本、食器などが置かれた部屋は、鑑賞者にとっては「作品」、すなわち虚構の空間ではありますが、何者かの気配を感じさせ、そこで何かが本当に起こるかもしれないという状況を作り出しています。

とはいえ、この作品は決してお化け屋敷のようなアトラクションを意図したものでなく、虚構と現実が混じり合うようなあいまいさをあえて作り出す

とで、現実に対する私たちの認識が不確かなものであることに気付かせます。

その点で、富安が「部屋」という形式を用いていることは興味深いと言えます。なぜなら、作品に視覚的な情報だけでなく、音や匂い、床の感触など、さまざまな感覚で捉えられる要素が含まれているからです。博物学者の荒俣宏は、怖いという実感の源を、視覚以外の抽象的な感覚に訴える「見えないもの」や「気配」といったものに求めています。そのため、怖いものを視覚的に表現することは、合理的な精神や美術的技術によって「見えないものを見るものにする」とあり、時には実感よりも作為が表立ってしまうと指摘しています。このことは、富安が油彩画単体から、部屋と



図2 富安由真《Room of Absence》2016年(部分)

いう肌で感じられる空間へと表現方法を拡張していることも関連しているのではないだろうか。

本展では、心霊から夢や無意識へとテーマを広げ、複数の部屋からなる新作を発表しています。夢は異世界のひとつとも言えますが、そこに普段は隠れているさまざまな感情や欲望が潜んでいるという点で、心霊現象や信仰、祈りにも通じる、心の領域が問題となっています。富安自身は、この作品を通して現実に対する認識のあいまいさに気付くことが「この物質社会に於いて、今一度世界と自分を見つめ直す重要な契機となると信じている」と述べています。

Information

guest room 002 富安由真
(不) 在の部屋——隠れるものたちの気配

【会場】北九州市立美術館本館

【会期】1月4日(木)~3月18日(日)

【開館時間】午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

【観覧料】一般150(120)円 高大生100(80)円 小中生50(40)円

※()内は20名以上の団体料金

※障害者手帳、年長者施設利用証(北九州市交付のもの)を提示の方は無料

※本展の観覧料で「ザ・ベスト・コレクション—丘の上の双眼鏡」もご覧いただけます

【お問合せ】093(882)7777



展示の様子

文芸 hiroba

ようこそ文学館へ

北九州市文化企画課・北九州市立文学館



北九州市立小倉城庭園 外観

杉田久女と橋本多佳子の豊かな情趣の言葉に出会っていただきたく、日本文化を紹介し外国人の来館者も多い、北九州市立

杉田久女・橋本多佳子記念室オープン

俳句と北九州

俳句は、日本独自の短詩文芸です。5・7・5の17音を定型とすることから、世界で一番短い詩（HAIKU）として海外でも知られています。

北九州市は、多くのゆかりの俳句作家を輩出してきました。特に女性俳句の草分けである杉田久女と、久女から手ほどきを受け、戦後に活躍した橋本多佳子は「文学の街・北九州」の誇りです。「久女を育み、多佳子を生んだ俳句の地」を掲げる「全国俳句大会IN北九州」（3月3・4日開催）も今年で17回目を迎えます。

小倉城庭園内に「杉田久女・橋本多佳子記念室」を開設しました。

杉田久女と橋本多佳子

杉田久女（1890～1946年）は鹿児島県生まれ。1909（明治42）年、旧制小倉中学校の図画教諭杉田宇内と結婚し小倉へ転居します。大正時代から昭和の初期、俳句雑誌「ホトトギス」を舞台に活躍しました。32（昭和7）年、主宰誌「花衣」を創刊し、「ホトトギス」の同人となりますが、わずか4年で同人を「削除」されます。没後の52（昭和27）年、初めての句集『杉田久女句集』が刊行されました。

《代表作》

花衣ぬぐやまつはる紐いろく足袋つぐやノラともならず教師妻



左、杉田久女。2人おいて橋本多佳子

無愛華の木蔭はいつこ仏生会
研こまして山ほととぎすほしいま、
むれ落ちて楊貴妃桜尚あせず

橋本多佳子（1899～1963年）は東京市本郷生まれ。実業家橋本豊次郎と結婚した後、

20（大正9）年、小倉中原（現・北九州市小倉北区）に新居として檀山荘を建てます。22（大正11）年、高浜虚子を迎えた檀山荘での句会をきっかけに杉田久女から俳句の指導を受けました。大阪に転居して山口誓子に師事。誓子主宰の「天狼」へ参加すると同時に「七曜」を創刊のち主宰を務めました。

《代表作》

月光にいのち死にゆくひとと寝る雪はげし抱かれて息のつまりしこと乳母車夏の怒濤どとうによこむきにいなびかり北よりすれば北を見る月一輪凍湖一輪光りあふ

記念室のみどころ

①直筆資料の展示

北九州市立文学館資料をはじめ、かごしま近代文学館、圓通寺や個人の所蔵品など、久女と多佳子の美しい直筆資料を一堂に集めて展示しています。

②橋本多佳子の遺愛品

橋本多佳子が後半生を過ごした奈良で身の回りに置いた調度品や愛用の着物を紹介しています。



檀山荘

③檀山荘をしのぶ品々

北九州の文化サロンとしてにぎわい、久女と多佳子の出会いの場ともなった檀山荘の跡地は現在、檀山荘公園として整備されています。このたび、かつて檀山荘に置かれていた灯笼、榻（長椅子、写真右下）、躰たは（手水鉢）の3点が小倉城庭園に移設されました。在りし日の檀山荘に思いを寄せていただければ幸いです。

小倉城庭園の売店コーナーもリニューアルしています。みなさまのご来場をお待ちしております！

Information

杉田久女・橋本多佳子記念室

北九州市小倉北区内1の2

北九州市立小倉城庭園内

【開館時間】午前9時～午後5時

（4～10月は午後6時まで）

【観覧料】一般300円 中高生150円

小学生100円（小倉城庭園入館料として）

3施設（小倉城庭園、小倉城、松本清張記念館）共通券、団体（30人以上）割引等あります

【お問合せ】093（582）2391（文化企画課）

093（582）2747（小倉城庭園）



旅する劇団たち

「東京で演劇をやろうと思っただことはありますか？」と聞かれることがある。正直、東京を拠点として、演劇活動をしようと思ったことはない。どちらかといえば、拠点を北九州市に置きながら、いかにして東京を含む他の土地に自分の作品を届けるかに興味があったように思う。

とはいえ、1986年に劇団に入った当時は、やはり「東京」というのはあこがれの場所だった。しかし、90年代に入ると

「地方の時代」というキーワードが登場し、日本の演劇を動かす力が、東京一極から地方へと分散し始める。93年に始まった「北九州演劇祭」では、東京を飛び越した、地方から地方への公演スタイルも多くなった。

実際、自分のホームでない場所での公演には途方もない「劇団体力」が要求される。演劇祭のような外枠や、何らかの助成金があればまだいいが、それがない状態で、知らない劇場、知らない観客に自分たちの作品をアピールし、劇場にまで足を運んでもらうには、知恵を絞らなくてはならない。

ただ、旅公演には、そんな苦

労を上回る達成感がある。生活環境の違う土地の観客は、作品を、そして劇団を育てる。その味を一度知ってしまったらもうホームに甘んじているだけの活動では我慢できなくなるだろう。「枝光本町商店街アイアンシアター」は、そういった「地方から地方へ」旅をする劇団の公演が比較的多く上演される劇場だ。去年の11月、12月も、数本の興味深い、地方劇団の公演が行われた。

まずは「オトリヨセ企画」の『愛と疎遠』（作・出演：杉山絵理・中西あい・乗松薫／11月25日・26日）だ。劇団ホームページによると、この「オトリヨセ企画」とは名古屋、広島、北九州と違う地域に住んでいるダンサー3人が「ダンサーの地元やゆかりのある土地に、お茶とご当地お菓子でお客さまと交流しながらダンスを届けよう」と始めた企画「だ」という。まさに「その土地の空気をたくさん吸い込む」姿勢で表現活動を行っているように見える。

12月には、愛媛を拠点に活動する「世界劇団」が『さらばコスモス』『鼓動の壺』（作・演出：本坊由華子／12月2日・3

日）を上演した。松山、広島、北九州を回る「二本立て3都市ツアー」である。

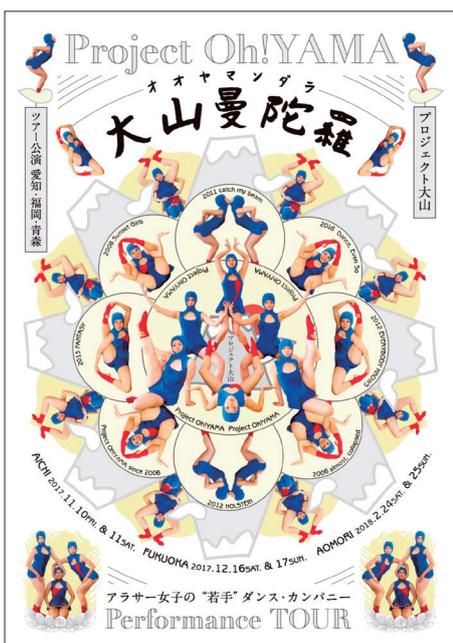
この「世界劇団」は、短編演劇祭「劇王」の四国大会と中国大会でそれぞれ一位を取った経験もある実力派。世界を毒のあるメスで切り刻んで、俳優のエネルギーギッシュな動きとセリフ回しで再構築する、どこか80年代の小劇場演劇を彷彿とさせるような作品展開が魅力だ。

この劇団は、公演日の12月2日が、門司港で行われている「海峡演劇祭」参加の、福岡市を拠点とする劇団「ぐにゃり」と同じ公演日ということで「ハシゴキャンペーン」として、JRスペースワールド駅と門司港駅間の料金片道分をキヤッシュバックするという企画を実施した。フットワークの軽さと強い劇団体力を感じる。北九州で、

こういった他地域の劇団同士の交流が行われるのを目撃できるのはとても喜ばしいことだ。

アイアンシアターでは、さらに、躍動的で魅力的なダンスユニット「プロジェクト大山」が『大山曼陀羅—オオヤマンガラ—』（構成・演出・振付：古家優里／12月16日・17日）を上演した。愛知、青森、福岡を巡るツアーの公演場所として、北九州市が選ばれたことが喜ばしい。

ただ、実際問題、どの劇団も観客動員には苦労しているようだ。見知らぬ劇団の見知らぬ演劇を観るために劇場に足を運ぶのは確かにハードルが高いだろう。しかし、そこには思わぬ良い出会いがあるかもしれない。数ある街から北九州市という場所を選んだ表現者に会いに劇場に行くという冒険も、劇的かと思うのだが、いかがだろうか。



プロジェクト大山ツアー公演
『大山曼陀羅—オオヤマンガラ—』チラシ

北九州市立松本清張記念館



開館当時の記念館

○開館の年

北九州市立松本清張記念館は、2018（平成30）年8月4日に開館20周年を迎えます。

20年前の1998（平成10）年は、皆さまにとってどんな年だったでしょうか……

世の中の動きとしては、冬季オリンピック・パラリンピックが長野で開催され、サッカーワールドカップに日本が初出場し、本市出身の平野啓一郎さんが芥川賞を受賞した年でした。

スマップの「夜空ノムコウ」がミリオンセラーになったり、初代「モーニング娘。」がデビューしたりした年。と聞くと隔世の感があるのではないでしょ

うか。

この年北九州市は市制35周年を迎え、北九州モノレールが延伸して小倉駅まで乗り入れられました。

そんな98（平成10）年の8月4日松本清張の七回忌の日に、当館は開館しました。

松本清張のご遺族の全面的な協力のもと、清張の愛用品や書籍資料などが寄贈され、第2展示室に清張の自宅（東京）の「書齋・書庫・応接間」が再現されました。

○記念館の20年間

この20年間には、印象に残るさまざまな出来事がありました。

2000（平成12）年には第41回建築業協会賞を、08（平成20）年には第56回菊池寛賞を、それぞれ受賞。菊池寛賞は、個人記念館の受賞は初めてということで大変話題になりました。09（平成21）年には、当館が中心となり、松本清張生誕100年記念の事業を全国的に開催しました。

またこの間、作家や編集者など関係者の方々が足を運んでくださったのはもちろん、日本全国から清張ファンが訪れ、松本清張の魅力を感じました。

○開館20年の軌跡展

18（平成30）年は、20周年を

記念してたくさんイベントを計画しております。

2月1日から始まったのが、開館20周年記念プレ事業「開館20年の軌跡展〜終わりなき探求〜」です。

記念館の20年間のトピックスや、著名な作家や研究者などからのメッセージ、学芸員の研究成果の賜物ともいえる「特別企画展」一挙紹介など、記念館に來られたことのある方には懐かしく、初めて來られる方にも20年間のことが分かる展示となっております。イベントのチラシを見る機会がありましたら、ぜひ両面をじっくり見比べてください。

○20周年記念イベント

そのほか、20周年記念事業として、8月の開館20周年記念講演会に、日本推理作家協会賞や松本清張賞などを受賞された著名なミステリー作家が来てくださる予定となっております。また、特別企画展として、前期は清張へのリスぺクトや愛があふれている「オマージュ展」、後期は今でも不動の人気を誇る「砂の器展」を開催予定です。企画展以外にもトークショーやシネマイベント、文学散歩などを企画中です。

○これらに向けて

開館20周年を迎える18年は記念館にとって大きな節目の年であり、次の10年に向けての一步を踏み出す年でもあります。

明治から平成まで四つの時代を生きた松本清張。来年にはその平成も終焉を迎え、新しい時代が始まります。「古きを温ねて新しきを知る」という孔子の言葉ではありませんが、いつまでも色あせない清張の業績や生き方に触れることで、新たな時代をどう迎えるのかといった心構えや気概をもつことができるような気がします。

開館20周年の今年、ここ、松本清張記念館で時代の流れを感じてみませんか。

皆さまのご来館をお待ちしております。

Information

開館20周年記念プレ事業

「開館20年の軌跡展〜終わりなき探求〜」

【開催期間】2月1日(木)～3月31日(土)

【開館時間】午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【会場】北九州市立松本清張記念館地階企画展示室

【入場料】

本展示のみ観覧の場合は無料

常設展示観覧 一般500円 中学生300円 小学生200円

【お問合せ】

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2の3
093(582)2761

かるかる Cultural

Culture&Cultivate

2018
February

2
Vol.58

春に包まれる前。

特集

北九州市立松本清張記念館

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | ようこそ文学館へ

美術 | 美術館へ行こう!

漫画 | 漫画と北九州

Topic | 北九州芸術劇場

音楽 | いろはにぴあの